

令和5年度 事業報告書 北いきいき市民活動センター

【指定管理者：

特定非営利活動法人くらしネット21】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 14 名（常勤 3、非常勤 11）

【人材育成の取組】

- ・提案業務にかかる各実行委員会やイベント・研修会への積極的な参加を促す。
- ・共生館各団体へ出かけての研修会・交流会の実施。
- ・毎月の職員会議で、コンプライアンスや IT 活用に職員の意識の向上をめざす。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
318	274	157	169	330	345	318	328	306	322	326	318

(年間)

3511 件（前年度比 99.6%）

イ 利用状況

- 障がい者から学生団体・高齢者まで、幅広い年齢層の利用がある。
- 長時間利用する団体があり、20 時間を超えないように連絡を密にとる。

ウ 利用促進に向けた取組

- 参加人数の多い団体については、AB に分けたり別団体を立ち上げたりして登録するなど利便性を図るように工夫している。

エ その他

- サロンについて（ありません。）

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- HP を毎月更新。抽選会のお知らせだけでなく、センターでのイベント情報など情報発信に積極的に取り組み、YouTube に動画も配信。
- 共生館団体（HAPS・天才アート・楽只児童館・ツラッティ千本）との施設連絡会を毎月開催し、各取り組みについて広報・情報共有を行う。

イ 取組の効果

- 障がい者団体を中心に、横のつながりが広がりつつある。

(4) 管理運営

- 防火管理者の選定については、北いきセンより選出し共生館全体の消防計画を作成している。館の内外の清掃業務についても、点検表を作成して朝昼夜と利用者に気持ちよく使っていただけるように美化に努めている。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」
 - ・コンプライアンスや人権についての職員研修の実施。
 - ・地元にある高齢者施設「紫野」「ふなおか」との連絡会の実施。
 - ・地元学区社会福祉協議会との連携を密にとる。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】1-1 いきいき市民活動祭（楽し地域のつどい交流）（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2024 年 9 月 16 日（土）10 時～12 時
- 2 開催場所：北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 90 名（10 団体）
- 4 協力団体等：実行委員会（楽只社会福祉協議会、楽只保育所、楽只児童館等）
- 5 予算： 400,000 円 / 決算： 399,328 円

1 事業内容

- 北いきいき市民活動センター利用団体による、音楽やダンスなどのパフォーマンス交流の場を設け、各団体の常々の活動や練習の成果を存分に発表してもらう祭典。
- 高齢者だけでなく、近隣児童施設の利用者や地域住民など幅広い観客を対象に、会場全体の交流を深める。

2 準備段階での工夫

- 当施設利用者だけでなく、隣接する保育所や児童館への早めの出演依頼と内容把握。
- 視力障がいのある方々の控室は普段の稽古場所をご利用いただくなどの配慮や、出演時の人員的なサポート体制。
- 発表サークルの系統が偏った前年度の反省を活かし、多岐にわたる種目団体に依頼。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 市民サークル活動の活性化と貸館事業の有効活用の力点にイベント交流を実施する。
- 当施設が入居する共生館の特徴（共学・共生）を生かし、地域住民の暮らしに寄り添い、各々が取り組む自主的なまちづくりの促進につなげる。

（2）事業実施による目標の達成度

- 当日は、幼児から小学生、ミドル層、高齢者、障がいのある方々と、当館を利用する幅広い世代の多岐にわたるサークルによる楽しい演目が、始終にぎやかに発表され、普段の各利用団体ごとの活動の枠を超えて、お互いの顔が見える交流となった。
- パフォーマンスをする各団体は、発表の機会に向けて向上心を持って事前から練習に取り組まれ、他団体の発表を見ることで、感動や新たな発見を通じ、今後の活動の糧となり得た。

4 今後の抱負

- 発表のしやすい文化系のサークルや団体には声をかけやすいが、スポーツ系の団体の交流も今後視野に入れたい。できるだけ幅広い利用団体の交流を図る工夫を凝らす。

事業風景の写真

①



よし笛サークル（利用団体）による演奏

②



フラフープと皿回しパフォーマンスをする楽只児童館の子どもたち

【事業名】1-2 いきいき楽ちゃんフェスティバル「夏まつり」

(夏の総合芸術文化祭) (市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 8 月 12 日（土）17 時～21 時
- 2 開催場所： いきいき市民活動センター 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 400 名（団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・児童館・保育所・FUNAGORA）
- 5 予算： 500,000 円 / 決算： 497,882 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
イキセン利用団体の中から、ダンス・音楽交流と盆ダンスの総踊り。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
ふれあい共生館内の団体の積極的な参加と交流。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
実行委員会には多くの団体が参画し、参加者主体を目指した多くの意見をいただくことができた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
ラジオミックス・北区社会福祉協議会によるアナウンス。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
地元の高齢者施設・障がい者からの参加が増えたこと。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
幅広い年齢層の参加を得ることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「食べ物コーナーを増やしてほしい」という希望が多かった。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
学区内だけでなく、広く市内からの参加がみられた。今後も、より多くの高齢者・障がい者・外国の方に参加して頂き、市民活動の交流を深めていきたい。

事業風景の写真



2023いきいき楽ちゃんフェスティバル アンケート 集計結果							(出演者 総数45)
アンケート項目	よかった		ふつう		どちらでもない		
①夏まつりに出演して。	44	98%	1	2.0%	0		
②夏まつりを楽しめたか。	43	96.0%	1	2.0%	1	2.0%	
③他の出演者やお客様との交流ができたか。	34	75.0%	8	18.0%	3	7.0%	
④また次の機会に参加したいと思ったか。	42	93.0%	3	7.0%	0		
■その他、お気づきの点やご意見など							
・進行について…							
・見るのも楽しかった ・大人もゆっくり見ながら、子どももほどよく楽しめる内容でとてもよかったです							
・盆踊りの練習がもう少し早めであれば、それだけでも子どもたちの参加が増えるかなと思いました							
・司会の方などががんばっているのがすごいなと思いました							
・学生の方などががんばってくださっていて沢山楽しめるコーナーがあって楽しかったです。おまつりと共に自分が出演できる時間があったことで、ますます思い出に残ったと思います							
・各ブース、舞台、盆踊りと、とてもにぎわっていたと思います。暑い中の準備、片付け、ありがとうございました							
・会場について…							
・児童館外門横でタバコを吸う人が多く、20本くらい吸い殻が捨ててあったので残念だった							
・当日は風があったので良かったが、気温が高く熱中症の心配があったと感じた							
・来られた方がゆっくり座れるイスがもう少しあればよいのかなと思いました							
・ブースの数ステージの発表など参加者が楽しめる内容で良かったです							
・設営など車の搬入経路などの事前に確認できていたら良かったと思います							
・夕方からは校舎で影ができていたので、思ったよりは暑くなくて良かったです							
・ダンスや盆踊りについて…							
・舞台を北側に設置して欲しいです ・今年はスピーカーの前でなくて踊りやすかった							
・のりのりでめちゃくちゃ良かったです ・みんながちゃんと踊ってよかった。またこのイベントをして欲しい							
・フクロウ仙人をステージの下ではなく、上にあがって子どもたちが踊ったのは保護者も見えて良かったと思いました							
・盆踊りの振り付けを覚える時間があればもっと楽しく皆様と交流ができたかも…とても楽しい時間をありがとうございました							
・出店について…							
・もっとゲームを出してほしいです ・たこ焼き・焼きそばがほしいです							
・食べ物のレパートリーをもう少しふやしてほしいです ・食べ物のしゅるいを多くしてもっと楽しみたい							
・ブースが小さく混雑する時間帯があった。ベビーカーや小さい子と回るのは大変そうだった							
・出店するお店のショップカードが店頭にあったら欲しかったです							
・その他…							
・らいねんもコロナが終息していたらよいと思う ・とても楽しく参加できました。みなさんの笑顔が素敵でした							
・昔からの友だちに会えてうれしかった ・ またやりたい お祭りの楽しさがわかった							
・お母さんが応援してくれてよかった ・ 予定があれば、次回もよろしくお願いいたします							
・運営してくださった皆様に感謝申し上げます							
■今後おこなってほしいイベントや活動							
・またこのイベントをして欲しい ・夏まつりへ向けての盆踊りの講習会							
・夏まつりを続けてほしいです ・盆踊りの曲の一つとして「日本全国〇〇音頭」を加える							
・ダンスのイベント ・引き続き参加させていただきたいです							

【事業名】1-3 パラスポーツのつどい（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 3 月 9 日（土）13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール・会議室 等
- 3 参加人数： 約 100 名（団体）
- 4 協力団体等：「パラスポーツのつどい」実行委員会（ライトハウス・FDF・さんりん舎）
- 5 予算： 300,000 円 / 決算： 290,259 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

ダンスサークルの指導によりダンスを行い、参加者同士の交流を深めた。多目的ホールでゴールボール・ドッジボール、会議室 2 でサウンドテーブルテニス、会議室 1 でペットボウリング・点字体験コーナー・白杖体験コーナーを実施。「つどい」の様子を YouTube に動画を配信した。

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

実行委員会も 3 年目を迎え、自立的な運営ができるようになってきている。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

ボランティアのメンバーが参加者に丁寧にかかわる様子がみられた。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

昨年よりも多くの福祉団体・放課後等デイサービスに呼びかけた。

ラジオミックスによる広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

グループを工夫し、体験だけでなく参加者同士の交流を図る。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。

参加者同士の励ましや声掛けなどの交流が増えた。

- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

「ライトハウス近辺では普段から視覚障がい者に接することが多く、参加者もとても意欲的な様子がみられた。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

体験の機会を増やすため、佛教大学の車椅子バスケットとも連携する。

パラスポーツアンケート 集計結果 (3/9 Sut)			
アンケート項目	よかった・ おもう	ふつう	どちらでもない
① いいあせを かくことができた。	57.0%	29.0%	14.0%
② ともだちと たのしむことができた。	86.0%	0.0%	14.0%
③ パラスポーツについて よくわかった。	57.0%	36.0%	7.0%
④ つぎのイベントがあれば 参加したい。	57.0%	29.0%	14.0%
■今後おこなってほしいスポーツや活動			
・ パラスポーツの他の種類もあれば教えてください。			
・ アイマスクをして絵を描きたい。			
・ ブラインドのバスケットやバレーがしてみたい。			
・ ブラインドゴルフ、サッカー、バスケット。			
・ マラソン（アイマスクをして）			
■その他、お気づきの点やご意見など			
・ 特になし			

事業風景の写真



ゴールボール体験



白杖体験

【事業名】2-1「船岡山西ストリート」まちづくりワークショップ

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 1/12.27 (土) 15 時～17 時 / 2/8.29 (木)) 19 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール、楽只児童館 遊戯室等
- 3 参加人数： 保護者・児童計 80 名 (団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会 (楽只学区社会福祉協議会・児童館・保育所・保護者)
- 5 予算： 185,000 円 / 決算： 182,760 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
児童対象 西通りについての標語づくり。
保護者 現状の把握と改善に向けて意見交換。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
地域の課題として、ライトハウスや高齢者施設施設にも呼びかける。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
地元の願いとして、京都市へも要望書を提出。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
地元社会福祉協議会広報誌にも記事にし、地域に広く発信する。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
保護者を巻き込んだまちづくり運動・教育運動としての推進。
「駐車しない」取組と道路整備の実現。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
盲学校の通学路については、土木事務所により高視認性区画線が設置された。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「新入生の保護者への協力のお願いも大切」…

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
3 年目を迎えるにあたり、関係機関との連携を強化するとともに、船岡山の利用活性化 (公園利用) と合わせてワークショップを展開していく。

事業風景の写真



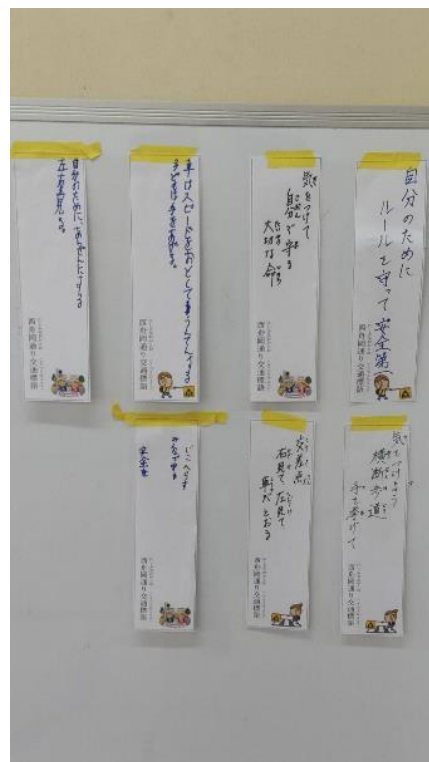
西通りの見守り活動



高視認性区画線



子どもと一緒に 標語づくり



【事業名】2-2「紙屋川たんけん」ワークショップ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 8/19.26 9/9.30 10/7.21 12/2
- 2 開催場所： 紙屋川河川敷、HAPS スタジオ、楽只児童館 等
- 3 参加人数： 各回 15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・HAPS）
- 5 予算： 190000 円 / 決算： 183,983 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
社会福祉協議会・児童館・HAPS より実行委員会を形成。
HAPS アーティストとのコラボによる栽培や紙すきの体験。
児童館・地域の子どもたちとの紙屋川探検の実施。
紙すきや拓本の体験の実施と作品展示。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
特に複合施設としていろいろな機会に参画していただけるように工夫した。
Ex.施設連絡会・楽ちゃんフェスティバル・市民活動祭への参画

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
トロロの栽培については、畑の提供や水やりなど地域の方々にも協力を頂いた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
京都新聞にも一連の活動を取り上げて頂いた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
一連の活動を通して、HAPS スタジオについての関心が高まった。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
利用者・子どもたちにも複合施設としての関心が高まった。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「伝統のある紙すきや拓本作りをぜひやってみたい」という声が多く聞かれた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
HAPS や天才アートと共に、市民活動センターとして広く芸術活動を発信していくようにする。

～ふれあい共生館の取組をご紹介します～

HAPS&楽只児童館によるトロロアオイのプロジェクト



↑ 苗ポッドに種まき



↑ 漉いたら型枠から外す

2023年4月から、ふれあい共生館内の団体、HAPS所属アーティスト、三枝愛さんと楽只児童館の子どもたちが、紙漉きに挑戦したり、紙漉きの糊成分になるトロロアオイ(黄蜀葵)の苗をプランターで育てたりする活動に取り組んでいます。

鷹峯のふもとから千本通りの西を流れる川、南へ行けば「天神川」と名を変えますが、北区周辺では「紙屋川」と呼ばれます。平安時代には、宮中で使用する紙を漉く官舎があったことが語源といわれ、和紙を使った作品をたくさん発表されている三枝さんが、地元ゆかりの「紙漉き文化」を次世代につないでもらいたいと、定期的にワークショップを開催されています。

北いきセン3階のギャラリー掲示板にも、三枝さんが発行されている手描きの壁新聞を掲示しています。



【事業名】2-3「盆踊り保存会」(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 6/18.25 7/8.15.22 8/5 13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 各回 15 名程度
- 4 協力団体等： 盆踊り保存会（くらしネット21・ツラッティ教育の会・児童館）
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 449,435 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・音頭練習 太鼓練習 6 月から開始
 - ・江州音頭 踊りの講習会（保育所・児童館・イキセン）
 - ・本番 「いきいき楽ちゃんフェスティバル」で披露 8 月 12 日
 - ・本番 「市民活動祭」で披露
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
(特にありません)

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
上御霊神社の神輿の担ぎ手も関心を持って、練習に参加された。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
(特に広報はできていません)

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
伝統文化ボランティア育成として次代の担い手につなげたい。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
保育所・児童館での踊りの講習会は、大いに盛り上がった。幅広い年齢層に楽しさを伝えていきたい。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
事前の講習会の成果もあり、フェスティバル当日には多くの盆踊り参加者がみられた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
歌い手（音頭とり）の人数が限られており、どのように伝えていくかが課題。

事業風景の写真



児童館での練習会



フェスティバル当日

【事業名】2-4「ラクシノクラシ」教育冊子プロジェクト（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 4 月 14 日（金）19 時～21 時（月 2 回程度） 等
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 各 8 名程度
- 4 協力団体等：プロジェクト（楽只学区社協・ツラッティ千本・HAPS 等）
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 428,690 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・「ラクシノクラシ」は千本地域の歴史・教育・まちづくりについて、全ページカラーでまとめられている。教育冊子プロジェクトとしての「ラクシノクラシ」による新たな広がりや活動を支援する
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
 - ・地元学区社協をはじめ、ツラッティ千本・HAPS・児童館等
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
 - ・京都新聞、ラジオミックスによる広報
 - ・全国人権啓発集会、人権交流京都市研究集会で冊子の紹介

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や，目標としたことなどを記載してください。
 - ・冊子のより有効な活用を目指し、ドキュメンタリーの撮影や「千本の赤」のリニューアル編集・製作を支援する。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し，記載してください。
 - ・4 月 22 日の周年記念行事（きたけん 50 周年・千本水平社創立 100 周年・楽只小学校創立 150 周年）には各関係者から多くの人たちが集い、親交を深めることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し，事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・部落問題をはじめ人権にかかわる様々な研修場面で、有効に活用されている。

4 今後の抱負

- 事業実施後に，実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・「部落問題解決の取組をより広く発信すること」をテーマとしたドキュメンタリー作品やかつて絵本として作成した「千本の赤」の映像化（アニメーション）を支援していく。

事業風景の写真



ラクシノクラシ のご案内



2019年3月、150年以上にわたって人権・同和教育を実践してきた京都市立楽只小学校が閉校しました。楽只小学校は、開校以来、学校としての役割はもとより、地域の人権発信の拠点として存在していました。地域にとって、楽只小学校の閉校は、「反差別の拠点の喪失」を意味するコトになります。そうした中で、楽只小学校が培ってきた学校文化である「すべての子どもに反差別の思想と共生の哲学」を次の時代に繋げていくツールとして活用できる本の発刊を企画しました。

本書は、楽只小学校の閉校と、2023年4月20日に迎える150周年を記念するものですが、2022年10月の部落解放研究北区集会（きたけん）50周年、2023年3月の千本水平社創立100周年も合わせた記念誌となっています。この記念すべき星まわりの年に、千本の歩んできた反差別・人権の歴史を冊子にまとめておきたいと考え、学校教育に限らず楽只学区（千本）の歴史やまちづくりなども網羅した三部構成の『ラクシノクラシ』を発刊いたしました。



近年、特定のグループなどによる被差別部落の地名や所在地のパラマキなどを契機に、「部落差別解消法」が施行され（2016年）、「被差別部落の地名や所在地などをどう扱うか」について、さまざまな議論がある中で、被差別部落からの発信として、『ラクシノクラシ』を通して、問題提起していきたいと考えています。

記念誌「ラクシノクラシ」編集委員会
委員長 後藤 直

ご購入や問合せは裏面をご覧ください。

【事業名】3-1「子どもの教育支援ボランティア養成」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 1/10.12.17.24.26 2/7.9.14.16 等 17 時～19 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター会議室 児童館 近隣の小学校等
- 3 参加人数： 各回 15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・佛教大学教育学部・ツラッティ教育の会）
- 5 予算： 101,680 円 / 決算： 101,672 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

児童生徒の理解の基本や障がいのある子どもへの理解、子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の大切さについてレクチャー。

近隣小学校での授業参観と指導案の作成を実際に行う。

子どもたちと書き初めや昔の遊び大会など、一緒に楽しむ

- 評価委員会から指摘された事項（特にありません。）

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

「ツラッティ教育の会」（教員 OB チーム）への協力依頼。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

児童館でボランティア学生への呼びかけを行う。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・一人ひとり作成した指導案を持ち寄り、近隣の小学校での実際の授業を参観しその後話し合いを持ち、児童生徒への理解を深めることができた。
- ・児童館に在籍する児童を対象とした書初めと共同作品の作成を通して、仲間との一体感など、仲間づくりを実感する活動となった。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
参加学生の若々しく熱心な話し合いがあり、子ども理解を深めることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

共同作品制作では、子どもたちもいきいきと取り組み、その後の人間関係にもより良い効果がみられた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

今後、学生同士の模擬授業体験なども実施し教育支援に役立つボランティア養成をめざしたい。

事業風景の写真



子ども理解について OB よりレクチャー



子どもたちと書き初め

【事業名】3-2「わんぱくキッズプログラム ボランティア指導員養成」

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 6/25 9/10 12/10 (日) 10 時～12 時
- 2 開催場所： 楽只保育所 園庭 等
- 3 参加人数： 指導者・保護者・子ども のべ 240 名
- 4 協力団体等： タグラグビー実行委員会 (児童館・保育所・社協・ツラッティ教育の会)
- 5 予算： 475,000 円 / 決算：474,599 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

- ・ラグビーボールに触れ、パスやタグ取りの楽しさを体験する。
- ・簡単なゲームをする。

8:30 スタッフ集合 10:00 開会 準備運動 体験活動 12:00 閉会 後片付

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

- ・京都府タグラグビー協会、ツラッティ教育の会 OB からの支援。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

- ・ラジオミックスによるアナウンス。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

- ・元楽只小学校・嘉楽中学校のラグビー文化として根付かせ、ボランティアによって自走していく団体の育成をめざす。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・毎回連続して参加する児童・保護者がおられる。
- ・南区や右京区など、幅広く市内からの参加が見られる。

- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

- ・「ひろいグラウンドを走れるので気持ちがいい」(子ども)
- ・「子どもにチームスポーツの楽しさを味わってほしい」(保護者)

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

- ・参加した保護者が中心になって「保護者会組織」と「クラブ活動」をめざす機運が高まっているので、自走化に向けて支援していく。

事業風景の写真



2023 第3回 ふれあい共生館 タグラグビー 体験会

タグラグビーって知っていますか？ラグビーのタックルを「タグ」に置き換えてルールを単純化した子どもから楽しめるスポーツです。

昨年度から児童館・保育所の子どもたちを中心に体験会を行っています。初めてのお子さんも、経験のあるお子さんもお気軽にご参加ください。栗只小学校・嘉楽中学校ラグビー部 08 のコーチ（栗只児童館・栗只保育所児童の保護者もおられます！）と一緒に、みんなで「タグラグビー」にチャレンジしてみましょう！

日時：2023年12月10日（日）

10:00~12:00

場所：京都市栗只保育所 園庭 （ふれあい共生館）

※雨天決行 雨天時は多目的ホールで実施（上靴をご持参ください）

警報等が出た場合は主催者より午前8時半ごろ中止の判断・指示があります

当日、参加されるお子さんの様子を見ながら、参加できる保護者の方は、ぜひ一緒に楽しみましょう！

対象：保育所・幼稚園年長児～小学生

服装：動きやすい服装、帽子

持ち物：水筒、汗拭きタオル

※当日のけがについては、応急処置を現場でします。

傷害保険に加入しますので、補償は加入保険の範囲内とします。

申し込み締め切り 12月1日（金）

以下の申込用紙を 栗只保育所・栗只児童館へお持ちください。

お電話でも申し込み可能です。（075-441-1012）

主催：ふれあい共生館タグラグビー実行委員会

共催：栗只児童館運営委員会・栗只児童館

体験無料です！
お気軽に〜♪



ふれあい共生館 タグラグビー体験会 申込書（2023.12.10）

体験者氏名① _____（年齢・学年）_____

体験者氏名② _____（年齢・学年）_____

参加して下さる保護者氏名 _____

中止の際の連絡先 _____（ ）_____

【事業名】3-3「地域高齢者見守り・声かけボランティアリーダー養成（楽ちゃんキッズデリ）」
（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 11/25 12/23 2/24（土）9 時半～12 時
- 2 開催場所： 楽只児童館 楽只学区を 3 ブロックに分けて
- 3 参加人数： のべ 180 名
- 4 協力団体等：社会福祉協議会・民生児童委員・共生館各団体等
- 5 予算： 120,000 円 / 決算： 117,423 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・地域活動や市民活動の担い手の育成として、地域の独居高齢者を対象に年 3 回の配食サービスとしてお弁当を届ける。またそれに向け、事前に案内状を作成・配布する中で、見守り活動と声かけ活動を実施する。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
 - ・共生館各団体にも参加していただくことで、共生館について認知が高まった。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・活動を通して、世代間を越えたボランティア活動をめざす。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・参加者全員にとって元気がでる活動となっている。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・「回を重ねるごとに、子どもたちの”あいさつ”や”声掛け”の対応の仕方が上手になってきている。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・「配食サービス」は、元楽只小学校の人権フィールドワークとして始まったものであり、その伝統を大切にしながらこれまで以上に地域の自走的な活動となるよう、計画や役割分担の中での支援をさらに進めていきたい。

事業風景の写真



【事業名】3-4「地域福祉ボランティア養成（共生社会推進支援者養成セミナー）」

（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 3 月 25 日（月）18 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 研修会参加 15 人
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只まのあ・楽只児童館・楽只学区社協）
- 5 予算： 128,320 円 / 決算： 102,373 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・「京都市のデータから見る放課後等デイと相談支援事業の今後」
講師 松浦雅衛 氏（合同会社 mockup 代表） ・質疑応答 アンケート実施
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
福祉関係者だけでなく、就学前後の保護者にも呼びかけをした。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
講師を決めるのに、他の福祉団体のアドバイスをいただくことができた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
(今年度はあまり広く発信できなかった)

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・相談支援事業所・相談支援専門員の役割や重要性を知ることにより、子どもたちの支援について保護者
自らが選択できるサービスについて知ることができる。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・参加者は放課後デイサービスの現状と問題を理解し、相談支援事業所、相談支援専門員の役割や重要性を知ることができた。
 - アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
- ・放課後デイサービスが重度の子が通える事業所がないことが問題。
- ・医療的ケアが必要であったり、虐待、親も障がい等の困難ケースは受け辛い。
- ・放課後デイの利用料が増額された為、利用控えが起こり事業所として利用者数は増えているが規制の影響が出ている。
- ・児童数は減少しているが相談件数が減っていない。放デイは家庭や学校以外の居場所として重要な役割を担っている。
- ・放課後デイは京都市の小学校より多いが相談支援事業所は数か所で足りていない。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・参加者数を増やすために告知を早く行う。
 - ・研修会でパワーポイントを使うなど工夫するとより分かりやすい。

事業風景の写真



まのあ 勉強会

参加費
無料

日時 3月25日(月) 18:00~20:00

場所 京都市北いきいき市民活動センター
会議室 2 (3階)

内容 京都市のデータから見る放課後デイと相談
支援事業の今後

講師 松浦 雅衛 氏

(合同会社 mockup 代表)



昨今、支援学校を卒業した方々の就労がますます大きな課題となってきました。今日は前回に引き続き、就労のしくみやあり方についてお話を聞きます。ぜひご参加ください。

主催 一般社団法人 楽只まのあ

協力 京都市北いきいき市民活動センター

お問い合わせ 075-441-1010

(資料)

bridge (放課後等デイサービス) 利用者の推移					
	2020	2021	2022	2023	2024
	R2.2	R3.2	R4.2	R5.2	R6.2
知的	12	12	15	14	13
身体	1	1	1	0	0
精神(発達)	9	10	10	7	10
その他(難病等)	0	0	0	0	0
合計	22	23	26	21	23
	20	22	24	20	22

←重複している

bridge (障害児相談支援) 利用者の推移					
	R2.2	R3.2	R4.2	R5.2	R6.2
放課後等デイ/bridge利用中	19	20	22	17	18
放課後等デイ/bridge利用無	10	15	17	18	23
合計	29	35	39	35	41
計画相談	0	0	1	5	5
困難ケース	0	1	3	4	8

↓放課後デイ

- ・2024/4から5領域(①健康/生活②運動/感覚③認知/行動④言語/コミュニケーション⑤人間関係/社会性)を全て含む総合的な支援
- ・支援時間を①30~90分②90~180分③180分以上 ※今までは30分以上のみ
- ・以前から60分のマンツーマン支援(※塾、習い事のイメージ)を国が問題視
- ・報酬等、放課後デイはおおよそ型が決まった感じ
- ・重身(医療的ケア児)放課後デイも総量規制の対象なのは問題あり

↓障害児相談支援

- ・放課後デイと違い、事業所数はほぼ横ばい
- ・増えない一番の要因は「報酬の低さ」、二番目は「周りにやっている人がいない」
- ・困難ケースは増加傾向
- ・困難ケースの定義は特に無いが、個人的に①医療的ケア児②虐待③親が障害持ち

【事業名】3-5「地域の歴史・文化活動ボランティア養成と歴史研究発表・

講演等イベント活動」

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 全体研修会 2023 年 12 月 13 日（月）18 時～21 時 （研究会月 1 回程度）
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 研究会 各 10 名 全体研修会 18 名
- 4 協力団体等： 地域歴史研究会
- 5 予算： 450,000 円 / 決算： 416,240 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・地域の寺院の成立からの移り変わりについて調査研究を行う。
 - ・全体研修会 12 月 13 日（月）
テーマ「近現代の京都の被差別部落における生活文化」
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
正覚寺、蓮生寺
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・高津本屏風の研究を柱に、資料収集・分析を協働する人材確保を支援する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・地域のお年寄りや住職から、寺院の文化風俗についての聞き取りを行うことができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・地域の寺院の移り変わりについて、市内五か村の寺院との関連も知りたい。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・昨年の「北区ウォーキング」の成果を受けて、広く人材育成とネットワーク化に向けた支援をする。

事業風景の写真



お年寄りからの聞き取り



西寺（蓮生寺）

(資料)

近現代の京都の被差別部落における生活文化

(「千本 地域歴史研究会」 研修会)

佛教大学大学院

文学研究科歴史学専攻

西村優汰

2023年12月13日

地域に暮らす人々によって築き上げられてきた「生活文化」

1 信仰とお寺

2 葬礼の風習

葬礼の流れ

通夜・葬式の形態の変遷

通夜・葬式の食事

出棺と葬列

逮夜勤めと忌明け

3 法事の風習

年回のお勤め

オクヨ

供養風呂

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：4,389,009 円（前年度比 120.2%）
内訳 会議室等：4,214,229 円
付属設備： 174,780 円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：実施せず

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】 令和5年11月実施

【調査項目】 窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時に参加者アンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
17.7%	79.0%	2.6%	0.0%	0.7%

(2) センター独自アンケート

○結果の概要：概ね満足（2.「3事業実施による目標の達成度」に記載）

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

- ・ 抽選会のスムーズな進行をめざす。
- ・ 施設の利用について「5分前退出」を協力していただく。
- ・ 気持ちのよいあいさつの励行。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

指定管理2年目を迎え、順調に管理運営が進んでいる。提案業務についても、共生館内の団体をはじめ多様な団体とのネットワークを築くことにより交流・進化を進めている。

- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

経年劣化が少しずつ出てきており、施設の点検・維持管理に気をつけている。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

各実行委員会や運営委員会の取り組みが定着しつつある。今後も、市民活動支援について、各団体が自走化できるように担い手や人材育成・活動の支援に積極的に関わっていく。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

- ・ 重大な事故やコンプライアンス違反等は、ありません。
- ・ 年間事業計画にある事業については、事業はすべて実施。
③-④と③-⑤の研修会については、2回計画していたところ、講師の先生の都合で1回のみ実施となった。次年度に実施の予定。
- ・ 3年次へ向けて、継続・充実させていく。

例) 年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業があった場合は、その事業の名称及び内容、実施できなかった理由、中止した事業の取扱い（翌年度（令和6年度）に実施するのか、しないのか。）等を簡潔に記載

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。